

第3回 つくば3Eフォーラム会議

2009年8月8日(土) 10:00~18:00

つくば国際会議場(中ホール)

会議場南側の研究交流センター駐車場を無料でご利用いただけます。

3回目となるつくば3Eフォーラム会議では、つくば環境スタイルについて多くの市民の方々と意見交換を行うとともに、藻類燃料の発展性と国際的な動向を探ります。なお、午後からのシンポジウムは東京で開催される第9回国際藻類学会のサテライトシンポジウムとしても位置づけられています。

参加費：無料(当日参加も可能ですが、できるだけ事前登録をお願いします)

主催：つくば3Eフォーラム委員会(筑波研究学園都市交流協議会)・筑波大学・つくば市
科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(JST/CREST)

後援：産業技術総合研究所、国立環境研究所、物質・材料研究機構 農業・食品産業技術総合研究機構・茨城県

10:00-12:00 『つくば環境スタイル』概要説明 & パネルディスカッション

コンピーナー：岡田久司 副市長・本位田拓 市長公室長(つくば市)

『つくば環境スタイル』行動計画が本年3月につくば市で策定され、パブリックコメントの受付も完了しました。このシンポジウムでは、この提言を如何に実現するかについて検討します。

12:00-13:30 ポスターセッション & 展示

私たちの地域や生活を、環境への負荷が少なく安全・安心なものにするには、どうしたらよいでしょう? つくば市およびその周辺での環境改善活動、環境教育、環境・エネルギー技術、環境政策などに関する先進的な取り組みやアイデアを紹介します。

13:30-18:00 国際シンポジウム 『藻類燃料の開発に関する最新の国際動向を探る』

(使用言語: 英語, 同時通訳有り)

コンピーナー：井上 勲 教授・渡邊 信 教授(筑波大学)

本シンポジウムでは、米国・オランダ・オーストラリア・日本・韓国・中国の各国での藻類燃料研究及び科学技術政策の情報交換をおこない、将来の共同研究の可能性を探ります。

13:30-14:00 『Microalgae for Production of Bulk Chemicals and Biofuels』(バイオ燃料及びバルク化学物質生産のための微細藻類)

Rene Wijffels 教授(オランダ ワーゲニンゲン大学)

14:00-14:30 『Large-Scale Production of Microalgae for Biofuels』(生物燃料としての微細藻類の大規模生産)

Bryan Willson 教授(アメリカ コロラド州立大学)

14:30-15:00 『Possibility of Algal Lipids as Industrial Ingredients』(藻類脂質の工業原料としての可能性)

彼谷邦光 教授(日本 筑波大学)

15:00-15:20 コーヒーブレイク

15:20-15:50 『Challenges and Opportunities for Biodiesel from Algae: Approaches by CSIRO, Australia』
(藻類からのバイオディーゼルへの挑戦と機会
ーオーストラリア国立自然科学産業研究機関 (CSIRO) からの提案ー)
Susan Blackburn 博士 (オーストラリア CSIRO)

15:50-16:20 『Algal Fuel Research in Korea』 (韓国における藻類燃料研究)
Ji-Won Yang 教授 (韓国科学技術研究所)

16:20-16:50 『Biofuels Research and Development - An Overview of the U.S. Department of Energy Office
of Biomass Programー』 (バイオ燃料の研究開発 ー米国エネルギー省バイオマス計画部の概要ー)
Joyce C Yang 博士 (アメリカ エネルギー省)

16:50-17:40 『General Discussion』 (総合討論)
座長: 渡邊 信 教授 (日本 筑波大学)

18:00-20:00 懇親会 (会場: つくば国際会議場 4F 「405」 会費: 5000円)